

神奈川県立みどり支援学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	令和5年度 第2回みどり支援学校運営協議会		
開催日時	令和5年11月1日(水)10:00~11:30		
開催場所	みどり支援学校 会議室		
出席者	神奈川県立みどり支援学校 学校運営協議会委員8名(本校校長を含む) 神奈川県立みどり支援学校 学校運営協議会事務局教職員 10名		
次回開催予定日	令和6年2月20日(火)		
問い合わせ先	みどり支援学校 副校長 菅原 肇 電話 045-471-7941 Fax 番号 045-474-4707		
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由	
審議(会議)経過	<p>審議(会議)事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長挨拶 2. 校長挨拶 3. 本日の流れ 4. 学校評価部会 <ul style="list-style-type: none"> ○中間評価 ○令和6年度の学校のミッション及び4年間の学校目標策定について 5. 事務連絡 6. 学校長挨拶 <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長挨拶(名執会長より) 学校評価システムの概要について、今年は4年目である。今回の協議会で次の4年間の中期目標についてディスカッションをする予定である。 2. 校長挨拶 3. 本日の流れ 4. 学校評価部会 <ul style="list-style-type: none"> ○ 中間評価 (1) 教育課程学習指導 <ol style="list-style-type: none"> ① キャリア教育の視点を大切にして、学習内容の見直しを図る。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の教育目標の実現に向けて計画的・組織的にカリキュラム・マネジメントを促進する。 ○ 学習指導要領を踏まえた学習内容表(本校では「シラバス」と呼んでいます)を、学部ごと、教科ごとに作成する。 ○ 今後は、実際に指導している授業の内容と整理されたものを比較する。 ② アセスメントを実施して個に応じた「わかる授業」を実践する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 3観点単元指導案の活用 単元目標・評価基準に沿った達成、状況を確認する。 ・単元目標3つの柱、身につけさせたい力、評価の規準の設定 (2) 児童・生徒指導・支援 <ol style="list-style-type: none"> ① 児童生徒が生き生きと活動し、自主性を重んじる集団授業作りを実践する。 高等部では、学習発表会で生徒が生き生きと協力し合い、自主的・主体的な集団活動ができるよう、計画及び実践をしている。また、5月に行ってきた大阪修学旅行の様子を生徒が動画で紹介し、生徒が解説する予定である。学習発表会実施後のアンケートを踏襲し次に繋げていく。 (3) 進路指導・支援 <ol style="list-style-type: none"> ① 自立と社会参加に向けた授業を通して、社会の一員として生きる力を伸ばす。 高等部2年生が前期校内実習で行ったボールペンの組み立てを実施。外部からの受注品のボールペンを組み立てや出来上がったボールペンを車へ積み込む納品をしたりした。11月の学部会で各学年の活動を全体共有する予定です。 ② 保護者対象進路研修会の充実を図り、進路に関する情報提供を丁寧に行う。 みどり相談室に学習会をセットにして行っているが、今年度は申込が大幅に増え、毎回、30~50名程の保護者の申し込みがあった。1学期は3回実施し、当日参加者はのべ85名。外部講師を招くことも多く、年間では合計9回の開催を予定している。 		

<p>審議(会議)経過</p>	<p>(4) 地域等との協働</p> <p>① 地域の各種団体と連携し、児童生徒が地域で活躍できる場を増やす。 地域の事業所と連携し、校内実習で取り組む新しい受注作業を開拓した。写真は手帳の解体作業をしている様子である。高等部の1年生と2年生が取り組んだ。</p> <p>② 近隣小中学校、高等学校と連携し、交流や巡回相談等を通じて地域の障害理解を促進する。 学校間交流については、東本郷小学校との交流授業が復活した。10月に、東本郷小学校の4年生4クラスが1クラスずつ本校に来て、事前授業を受け、校内見学をした。今後、3学期に本校4・5・6年生と交流授業を予定している。</p> <p>(5) 学校管理学校運営</p> <p>① 校舎内外の機能改善を行うとともに、校内環境の整備を進める。 機能改善の取り組みとして県の環境整備事業の制度を活用し車両の出入りの少ない夏季休業中に地域ボランティアの方とともに駐車区画のラインと正門手前の一時停止線の引き直しを行った。また、併せて児童生徒が登下校時に通る歩行者通路を緑色に塗装する作業を行った。</p> <p>② スクールバス内における安全に対する取り組みを強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 曖昧だった補助具などの配慮事項を見える化し共有 ○ 乗降のチェック <p>バスに置き去り防止用の装置をつけた、こちらは運転手が操作するタイプのもので、装置の研修や体験は行っておらず周知のみとした。これからも日々の情報交換や打ち合わせなどで介助員と連携しながら、安全なスクールバス内での取り組みを図っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和6年度の学校のミッション及び4年間の学校目標策定について <p>A:「みどり支援学校教職員全員でランドデザインをつくる」 ・教職員全員で作っていきたいと考えている。職員会議の時間に学部縦割り ・キャリア別のグループで話し合っている。</p> <p>B:「第1回 キャリア別グループ協議結果」 ・それぞれのグループで話し合った結果、課題があがった。今後、深堀して考えていけるように進めていく。</p> <p>C:先生方は楽しみながら取り組んでいるのか楽しみながら話し合っている。</p> <p>D:声を反映してもらえることは教員としてロマンがあってよい。小学校でもよさや輝きなどの子どもの姿を聞いて策定した。その子らしさや今生きていることを大事にしてランドデザインを作った。</p> <p>E:法人には基本理念がある。教職員で話し合うことは徹底している。どうすれば利用者が楽しめるのかなどを考えている。利用者一人ひとりが生き生きと活躍できるように話し合っている。</p> <p>F:教員が楽しみながらできていることはよい。</p> <p>G 子どもを育てるだけでなく、自分たちも前向きに計画していることが良い。</p> <p>H:センター的機能の話や交流の話などが先ほどあった。地域とのつながり、共生社会の中心となるような地域の中での学校としての視点で広がりのある取り組みができるとよい。</p> <p>I:PTA でも共有している。みどり支援学校は児童生徒の目線に合わせて教育をされている。</p> <p>J:子どもたち、保護者が関わることはどうであろうか。(回答:副校長)12月の学校評価保護者アンケートに質問項目を入れて尋ねることは可能である。</p> <p>K:「みどり支援学校 ランドデザイン資料」より、どのような形が良いかと質問。</p> <p>L:支援学校の位置づけが地域に広げられるとよい。このような児童生徒になってほしいが取り入れられるとよい(こうなりたい自分がよい、自主性や主体性のような言葉ではなく)。自分が目指したいものになるためのステップの一つが学校である。</p> <p>M:家族のこの視点も取り入れてほしい(目指す学校像などへ)。</p> <p>N:「健康」のキーワードを入れてほしい。</p>
<p>会議資料</p>	<p>①令和5年度第2回次第(本紙)</p> <p>②神奈川県立みどり支援学校 学校運営協議会運営要項</p> <p>③学校教育計画(令和2年度～令和5年度)</p> <p>④令和5年度学校評価報告書(中間評価)</p> <p>⑤パワーポイント資料</p> <p>⑥令和6年度以降の学校のミッション及び4年間の学校目標策定に向けて</p>